

トラスト通信

令和4年第3号

今年も「天空の芸術祭」開催

東御市と東京芸術大学は2016年より「天空の芸術祭」を開催しています。今年は海野宿を舞台に15名の美術家が作品を展示しています。

揺り動くアウトラインー身体は思考する

作家たちは、自己の身体でその場所に潜在するものと対話し想像し多彩な作品を制作しました。いろいろなことが定まらず揺れ動いている現在の社会では、状況変化のスピードは早く、その有様をとらえ切れないうちに輪郭が変わって行きます。作品制作という手段で場所と人、歴史や物事をつなぎながら、ふれたままの輪郭をあらわにすることで現在を表現し、過去からつながるこれからを見るための羅針盤を造ろうとしているのかもしれませんが。（天空の芸術祭2022パンフレットより抜粋）

作品は宿場通りから、資料館内、白鳥神社、うんのわ、のらっぽ、古民家カフェ麦等様々な場所にあります。歩きながら探してみてください。



※展示されている作品の一部です

今後の予定等

11月「ふれあいまつり」は中止です

- ・今年もコロナがまだ終息せず、ふれあい祭りは中止となりました。
- ・11月3日の恒例の「新嘗祭」は予定通り行われます。
宿場内に「幟立て」が行われます。

令和5年3月 海野宿ひなまつり

- ・例年開催されている「海野宿ひなまつり」は来年の3月に開催します。



ポルシェラリー開催！

9月10日（土）



昨年も予定されていましたがコロナ禍で中止となり、2年越しに準備してきたポルシェ来宿が実現しました。

東京のポルシェディーラー主催の走行会のチェックポイントとして海野宿が選ばれ、ドイツの名門ポルシェ社の新旧ポルシェ911型が50台海野宿に集結しました。

当日はお天気も良く、沿道にはお客様もたくさんお越しいただきました。



海野宿からは、時代衣装を身に着けた、代官役1名と役人役2名が出迎えて。ポルシェドライバーからも記念写真を撮らせてほしいなど好評でした。海野宿と最新のポルシェのコントラストはいかがでしたでしょうか？滞在時間は1～2時間程度でしたが、ポルシェ色に染まった海野宿の一日でした。

*「復興の鐘」展示始まる

10月12日～28日 資料館前



資料館前に「復興の鐘」が展示されました。鐘は昨年の東京芸大生による天空の芸術祭に出展されたものです。今月23日まで展示します。海野宿も大きな台風災害から3年が経過し、今後二度と災害が起きない様にと、災害からの復興を願って「復興の鐘」と命名しました。地元の方やお客様に、鐘を叩いていただき、その音色を海野宿に響かせて願いを届けていただきたいと思います。

*海野宿観光ガイドについて

●ガイド実績紹介

コロナ第7波が落ち着いてきて、一般のお客様も観光バスも来るようになり順調にお客様の入りは増えてきてます。それに従い、観光ガイドの依頼も増えてきています。海野宿トラストによる観光ガイドは、すでに3年目に入りますが、ガイドスタッフも経験を積み、お客様からのご要望にも十分応えられるようになり、わざわざお礼状を送っていただくお客様もいるほどになりました。今後さらに依頼が増えると思込んでいます。ガイドスタッフの充実も急務です。



大勢のお客様を引き連れてガイドするベテランスタッフ

●ガイドスタッフの募集 ガイド研修は随時行います。どうぞご参加ください。

*継続して会員を募集しています

NPO法人海野宿トラストは、会員の皆様の会費で運営されています。趣旨に賛同され活動を支援して頂ける皆様のご参加を切にお願い申し上げます。

会費	正会員	入会金	3000円	年会費	6,000円
	賛助会員年間	個人	1口	3,000円	(入会金なし)
		事業者	1口	6,000円	//
		団体	1口	30,000円	//

会員申し込み先

海野宿トラスト事務所 0268-55-3694 Email : info@unnojuku-trust.com
同 ホームページ <https://unnojuku-trust.com/>